

## 平成18年度9月補正予算案について

9月補正では、以下のとおりの歳入歳出予算補正を行います。

- 一般会計
  - ・指定管理者による管理運営水準の維持向上を図るための**指定管理者第三者評価事業**など10事業
- 特別会計
  - ・事業進ちよく等に伴う**戸塚駅西口第1地区市街地再開発事業**（市街地開発事業費会計）など2事業
- 企業会計
  - ・企業債繰上償還に伴う**公債費**（下水道事業会計・水道事業会計）など3事業

### 【歳入歳出予算補正】

一般会計	10事業	305百万円
<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           305百万円は歳出補正総額            この他歳入補正として、自動車事業会計から行政路線補助金の返還金1,283百万円を受け入れ         </div>		
特別会計	2事業	10,366百万円
企業会計	3事業	10,441百万円
全会計総計	15事業	21,112百万円
全会計純計		11,913百万円

### 【その他の補正】

債務負担行為の補正（一般会計）	1件
繰越明許費補正（特別会計）	1件

## 1. 歳入歳出予算補正

### (1) 一般会計補正の内容

#### ①指定管理者第三者評価事業の補正 10百万円（一般財源10）

18年第2回定例会までに必要とされていた指定管理者の指定を完了したことを踏まえ、新たに指定管理者評価制度に関する委員会を設置し、評価基準を策定するとともに、民間団体（NPO法人、シンクタンクなど）を評価機関として認定します。評価機関が評価基準に基づき評価を実施し、その結果を公表します。

今年度は、17年度までに指定管理者による管理運営を開始した区民利用施設を中心に実施し、今後、段階的に対象施設を拡大します。

#### 【経費内訳】

- ・指定管理者評価制度委員会経費（委員報酬、会議費） 1百万円
  - ※委員構成（案）：学識経験者2名、弁護士・公認会計士・事業者代表各1名、利用者代表2名
- ・評価実施に係る業務委託（評価機関研修、評価機関フォローアップ研修） 1百万円
- ・評価実施補助金（@200千円×40施設） 8百万円

## ②よこはま若者サポートステーション(仮称)事業の補正 41百万円(一般財源 41)

青少年の自立支援への取組として、国の「若者自立支援ネットワーク整備モデル事業」を参考に、若年無業者の職業的自立に向けた総合相談や就労体験等を通じた職業意識の醸成などを行うための地域支援拠点として「よこはま若者サポートステーション(仮称)」を開設します。

### ◆よこはま若者サポートステーション(仮称)の設置 37百万円

<施設概要(予定)>

開設時期：平成18年12月

場 所：市内主要駅からの徒歩圏内

運営時間：月～土 11:00～19:00

実施手法：自立支援に係る取組実績のある民間団体から運営主体を募集、必要経費を補助

運営体制：専門家(キャリアカウンセラー、臨床心理士)の配置を要件

業務内容：職業的自立に向けた総合相談、若年無業者の自立に向けたプログラムの作成・実施、体験機会の提供・事業の実施、学齢期対象の職業体験 等

### ◆自立支援ネットワーク事業の実施 4百万円

様々な社会資源を活用した包括的な支援体制を確立し、職業的自立に向けた学齢期から青年期までの一貫した取組を行うための事業(シンポジウム開催・啓発パンフレット作成等)を、サポートステーションと本市が連携して実施

## ③焼却灰有効利用事業の補正

141百万円(一般財源 141)

最終処分場の延命化を図るため、焼却灰を資源化する焼却灰有効利用事業について、処理先の早期確保の観点から補正対応します。

### ◆旭工場飛灰セメント原料化処理委託 67百万円

受入先が限定されている飛灰セメント原料化の処理工場を早期に確保する観点から、旭工場から排出される飛灰をセメント工場まで輸送し、セメント原料の一部として利用する処理経費を補正

### ◆金沢工場溶融飛灰取り出し設備工事 101百万円

金沢工場から排出される溶融飛灰については、現在行っている薬品処理した上で埋立処分する方法よりも資源化の方がコスト低減が見込まれており、溶融飛灰を単独で取り出すための設備を整備し、資源化が可能な受入先を早期に確保

## ④食品リサイクル推進モデル整備事業補助金返還金の補正

104百万円(その他 104)

平成15年度(16年度に繰越執行)に、食品リサイクル推進モデル整備事業補助金(国→県→市→事業主体)の交付をうけて施設整備を行った事業主体から、事業を廃止するとともに、補助金を返還したい旨の申し入れがあったため、返還金を受け入れ、交付元である県を通じて国へ全額返還します。

事業主体：横浜エコポート(株)

施設所在地：神奈川区鈴繁町4

補助対象事業費：311百万円(国庫補助金 104百万円、事業主負担 207百万円)

**⑤焼却工場大規模補修事業の補正 ▲416百万円** (市債▲311 一般財源▲105)

保土ヶ谷工場焼却炉等補修工事については、入札不調により工期が6か月遅れる見込みであり、これに伴い18年度の出来高が当初予定を下回るため、18年度の事業費を減額するとともに、債務負担行為の期間及び限度額を変更します。

併せて、本工事の工期延伸により、その他の焼却工場を含めた改修スケジュールを見直したことにより、本年度予定していた焼却工場基本調査委託費について減額します。

◆保土ヶ谷工場焼却炉等補修工事 **▲374百万円**

工 期	
当 初	平成18年6月～平成20年3月（22か月）
変更後	平成18年12月～平成20年9月（22か月）

単位：百万円

	18年度	19年度	20年度	合計
当 初	448	1,114	—	1,562
変更後	74	974	514	1,562
差 引	▲374	▲140	514	0

◆焼却工場基本調査委託 **▲42百万円**

**⑥マンション耐震改修促進事業の補正 56百万円** (国27 一般財源29)

コンアルマーディオ横濱鶴見等の耐震偽装マンションの再建着手が具体化してきたため、早期再建に向けて、国の公的支援の仕組みに沿ったマンション管理組合支援を実施します。

◆耐震改修設計助成費 **27百万円**

国と関係自治体の申し合わせに基づき、今年度内の再建工事着手を目指し、速やかな実施設計着手を誘導するため、マンション管理組合が耐震改修での再建の検討をすすめている4件分の設計助成費を計上

【対象マンション】  
 コンアルマーディオ横濱鶴見、グランドステージ鶴見、  
 セントレジアス鶴見、グランドベイ横浜

※10百万円×4件×2/3=27百万円（国・市各1/2）

◆耐震改修工事助成費 **11百万円**

順調に推移した場合、年度内の着工が見込まれるコンアルマーディオ横濱鶴見の今年度工事助成費を計上

※H18工事助成費 33百万円×1/3=11百万円（国5百万円、市6百万円）

◆危険なマンション退去促進助成費 **18百万円**

使用禁止命令が発令されたコンアルマーディオ横濱鶴見からの退去を促進するため、移転費・仮住居家賃助成費を計上

**⑦高度安全安心情報ネットワーク整備事業の補正 541百万円(一般財源 541)**

本市の防災・危機管理能力を大幅に向上させるため、情報収集能力を強化するとともに、関係機関との高度なネットワークを構築し、必要な情報を集約・共有します。

**【全体事業計画】**

対象情報：災害現場映像情報、消防車両動態位置情報、繁華街安心カメラ映像情報等の既存情報、県警道路情報等の関係機関情報

対象施設：消防本部、市庁舎、消防署、消防出張所、区役所、神奈川県警、県庁、自衛隊、海上保安庁、災害医療拠点病院など

計画事業費：16億円(⑱5億円、⑲以降11億円)

**【18年度事業費：541百万円の内訳】**

◆関係機関ネットワーク **139百万円**

消防本部、4消防署(神奈川・西・中・港北)、4区役所(同左)、市庁舎、メディアタワー

◆車両関係ネットワーク **402百万円**

消防本部設備、車両設備(動態位置情報のみ)、4消防署・18出張所設備など

※車両設備は、神奈川・西・中・港北の各消防署保有車両94両分

**⑧市街地開発事業費会計繰出金の補正 90百万円(国 56 市債▲35 一般財源 69)**

戸塚駅西口第1地区市街地再開発事業について、18年12月の管理处分計画の申請、19年2月の認可に向けて、事業の進ちょく等に伴い用地費・設計費を補正するのにあわせて、市街地開発事業費会計繰出金を補正します。

また、国庫補助メニューの変更に伴う財源更正を行います。

◆用地費の増 **56百万円**(国庫補助認証の増)

◆設計費の増 **34百万円**(軟弱地盤調査等の増)

**⑨下水道事業会計繰出金の補正 ▲207百万円(一般財源▲207)**

公営企業金融公庫高金利対策借換債の増額が認められたことに伴い、利子が減額となる見込みであることから、一般会計から下水道事業会計に雨水分の利子相当額として支出する予定の繰出金を減額します。

利子軽減見込額 383百万円(雨水207百万円、汚水176百万円)

**⑩行政路線補助金(自動車事業会計繰出金)の補正 ▲54百万円(一般財源▲54)**

不適切な積算により過剰に計上された自動車事業会計に対する行政路線補助金について、適正な補助金額にするため減額します。

	当初予算	適正な積算	差引
補助金額	216百万円	162百万円	▲54百万円
路線数	11路線	10路線	▲1路線

※不適切な積算があった路線：308系統

【歳入補正】

**⑪行政路線補助金返還金の補正 1,283百万円**

不適切な積算によりこれまで過剰に請求されてきた自動車事業会計に対する行政路線補助金について、13年度から17年度分を返還金として歳入計上します。

	13年度分	14年度分	15年度分	16年度分	17年度分
返還額	153百万円	335百万円	397百万円	240百万円	158百万円
路線数	3路線	10路線	10路線	7路線	7路線

【9月補正における財源の状況】

(単位：百万円)

事業費	国費	その他	市債	一般財源
305	82	1,387	▲346	▲818

9月補正では818百万円の一般財源が不用となるため、個人市民税の予算計上額を818百万円減額し、今後の補正財源として留保します。

**(2) 特別会計補正の内容**

**①戸塚駅西口第1地区市街地再開発事業の補正<市街地開発事業費会計>**

**1,050百万円**(国 668 市債 292 一般会計繰入金 90)

18年12月の管理处分計画の申請、19年2月の認可に向けて、事業の進ちょく等に伴い、補償費・用地費・設計費を補正します。

また、併せて、国庫補助メニューの変更に伴う財源更正を行います。

- ◆補償費の増 **960百万円** (休業補償を選択した権利者の増)
- ◆用地費の増 **56百万円** (国庫補助認証の増)
- ◆設計費の増 **34百万円** (軟弱地盤調査等の増)

**②公債費の補正<市債金会計>**

**9,316百万円**(他会計繰入金 9,316)

下水道事業会計・水道事業会計において、公営企業金融公庫高金利対策借換債の増額が認められたことに伴い、繰上償還による元金償還金の増額、低利借換による利子の減額を行います。

- ◆元金 **9,717百万円** (下水9,145百万円、水道572百万円)
- ◆利子 **▲401百万円** (下水▲383百万円、水道▲18百万円)

### (3) 企業会計補正の内容

#### ①公債費等の補正<下水道事業会計・水道事業会計>

9,316百万円(市債9,718 その他▲195 一般会計繰入金▲207)

下水道事業会計・水道事業会計において、公営企業金融公庫高金利対策借換債の増額が認められたことに伴い、繰上償還による元金償還金の増額、低利借換による利子の減額を行います。

また、下水道事業会計において、下水道整備事業費充当企業債の充当率の変更(95%→100%)があったことに伴い、企業債の増額補正を行います。

##### ◆下水道事業会計

・公営企業金融公庫高金利対策借換債の増額【収入補正】	9,145百万円
・企業債元金償還金の増額	9,145百万円
・低利借換による利子の減額	▲383百万円
※借換の効果額(23年度まで累計):1,351百万円	
・一般会計繰入金の減額【収入補正】	▲207百万円
・下水道整備事業費充当企業債の増額【収入補正】	2,071百万円

##### ◆水道事業会計

・公営企業金融公庫高金利対策借換債の増額【収入補正】	573百万円
・企業債元金償還金の増額	572百万円
・低利借換による利子の減額	▲18百万円

※借換の効果額(22年度まで累計):79百万円

#### ②行政路線補助金の減額及び返還金の補正<自動車事業会計>

1,125百万円(その他1,125)

不適切な積算により過剰に収入した行政路線補助金について、13年度から16年度分を一般会計への返還金として補正します。

併せて、同様に過剰に収入予算に計上されていた18年度分の行政路線補助金について、営業外収益の減額を行います。

##### ◆13年度から16年度分の返還金 1,125百万円

※一般会計歳入補正額1,283百万円との差額について

17年度分の過剰収入額158百万円については、自動車事業会計の17年度決算処理において、収入計上せず未払い金として処理したため、一般会計の歳入として計上されるが、自動車事業会計の支出予算へは計上されない。

##### ◆18年度分行政路線補助金の減額【収入補正】 ▲54百万円

## 2. 債務負担行為補正

### ◆一般会計（予算外義務負担の変更）

事 項		期 間	限度額
保土ヶ谷工場大規模補修工事請負契約の締結に係る予算外義務負担	補正前	平成 19 年度	1,200,000 千円
	補正後	平成 19 年度から 平成 20 年度まで	1,500,000 千円

[債務負担変更理由]

入札不調により本年度の予定出来高の達成が困難となったため、本年度当初予算で設定した債務負担行為について、期間及び限度額の変更を行います。

## 3. 繰越明許費補正

### ◆特別会計＜市街地開発事業費会計＞

明許設定額 2,100百万円（戸塚駅西口第1地区市街地再開発事業）

[繰越明許費設定理由]

戸塚駅西口第1地区市街地再開発事業については、管理処分計画の申請を18年12月に、同認可を19年2月、仮設店舗のオープンを19年6月に予定しています。そのスケジュールに沿って立ち退き期限を19年5月末とする必要があり、年度を越えた補償契約となるため、あらかじめ繰越明許費を設定したうえで契約手続きに入ります。

平成18年度9月補正予算案の内容(歳入歳出予算)

参考資料

一般会計

(単位：百万円)

局名	事業名	補正額	財源				
			国	県	その他	市債	一般財源
行政	指定管理者第三者評価事業	10					10
行政	自動車事業会計繰出金 (行政路線補助金)	▲ 54					▲ 54
こども 青少年	よこはま若者サポートステーション(仮称)事業	41					41
環境 創造	下水道事業会計繰出金	▲ 207					▲ 207
資源 循環	焼却灰有効利用事業	141					141
資源 循環	食品リサイクル推進モデル整備事業補助金返還金	103			103		0
資源 循環	焼却工場大規模補修事業	▲ 416				▲ 311	▲ 105
まち づくり	マンション耐震改修促進事業	56	27				29
都市 整備	市街地開発事業費会計繰出金 (戸塚駅西口第1地区)	90	56			▲ 35	69
安全 管理	高度安全安心情報ネットワーク整備事業	541					541
一般会計 歳出計		305	83	0	103	▲ 346	465
行政	(歳入) 行政路線補助金返還金	0			1,283		▲ 1,283
一般会計 合計		305	83	0	1,386	▲ 346	▲ 818



## 特別会計

(単位：百万円)

局名	事業名	補正額	財 源				
			国	県	その他	市債	一般会計 繰入金
都市 整備	市街地開発事業費会計 (戸塚駅西口第1地区)	1,050	668			292	90
行政	市債金会計 (公債費)	9,316			9,316		0
特別会計 合計		10,366	668	0	9,316	292	90

## 企業会計

(単位：百万円)

局名	事業名	補正額	財 源				
			国	県	その他	市債 (企業債)	一般会計 繰入金
環境 創造	下水道事業会計	8,762			▲ 176	9,145	▲ 207
水道	水道事業会計	554			▲ 20	574	0
交通	自動車事業会計	1,125			1,125		0
企業会計 合計		10,441	0	0	929	9,719	▲ 207

全会計総計	21,112
全会計純計	11,913

平成18年度歳入・歳出補正予算の概要（9月補正）

参考資料

【一般会計】

（単位：百万円）

	17年度			18年度			伸び率	
	当初	9月現計 ①	最終現計 ②	補正前	今回補正	9月現計 ③	③/①	③/②
歳出総額	1,284,164	1,286,402	1,313,528	1,300,696	305	1,301,001	1.1%	▲ 1.0%
人件費	209,127	209,753	209,863	205,870	0	205,870	▲ 1.9%	▲ 1.9%
扶助費	233,500	233,500	239,288	254,672	0	254,672	9.1%	6.4%
行政運営費	222,264	223,876	225,834	232,155	195	232,350	3.8%	2.9%
施設等整備費	240,977	240,977	244,758	234,323	282	234,605	▲ 2.6%	▲ 4.1%
単独事業	140,100	140,100	139,025	136,224	226	136,450	▲ 2.6%	▲ 1.9%
補助事業	100,877	100,877	105,733	98,099	56	98,155	▲ 2.7%	▲ 7.2%
公債費	186,218	186,218	193,626	182,467	0	182,467	▲ 2.0%	▲ 5.8%
繰出金	192,078	192,078	200,159	191,209	▲ 172	191,037	▲ 0.5%	▲ 4.6%
特定財源	326,532	328,770	339,494	343,527	1,469	344,996	4.9%	1.6%
国庫支出金	156,160	156,160	165,992	151,535	83	151,618	▲ 2.9%	▲ 8.7%
県支出金	24,071	26,309	26,916	29,053	0	29,053	10.4%	7.9%
その他	146,301	146,301	146,586	162,939	1,386	164,325	12.3%	12.1%
市債	133,945	133,945	133,945	123,273	▲ 346	122,927	▲ 8.2%	▲ 8.2%
一般財源	823,687	823,687	840,089	833,896	▲ 818	833,078	1.1%	▲ 0.8%
うち市税	653,222	653,222	664,765	673,081	▲ 818	672,263	2.9%	1.1%

【特別会計】	1,526,095	1,528,413	1,548,734	1,451,382	10,366	1,461,748	▲ 4.4%	▲ 5.6%
--------	-----------	-----------	-----------	-----------	--------	-----------	--------	--------

【企業会計】	665,340	667,658	669,157	630,222	10,441	640,663	▲ 4.0%	▲ 4.3%
--------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	--------	--------

※平成18年度特別会計に風力発電事業費会計を設置したことに伴い、17年度の計数を整理しています。